

◎筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
時計の時間と心の時間 一川 誠

○文章構成を理解しよう。

ステップ1 段落に小見出しをつけよう！

①初め・・・私たちは毎日当たり前のように時間と付き合いながら生活しています・・・

②「時計の時間」と「心の時間」の特性

③「心の時間」の（ ）に影響を与える事例①

④「心の時間」の（ ）に影響を与える事例②

⑤「心の時間」の（ ）に影響を与える事例③

⑥人によって「心の時間」の（ ）が異なる事例

⑦「時計の時間」と「心の時間」のまとめ

⑧終わり・・・「（ ）の時間」にも目を向けることの大切さが・・・

ステップ2 筆者の主張は何段落に書いてあるだろうか？

文章をよく読んで探そう。『笑うから楽しい』を参考に

（ ） 段落

ステップ3 筆者は「心の時間」について、いくつの事例を挙げていますか？

また、いずれかの事例が欠けていたらどう感じるだろうか、考えよう。

・事例の数・・・（ ）つ
・いずれかの事例が欠けていたら…

○筆者の主張を読み取ろう。

①「時計の時間」と「心の時間」という、（ ）のちがう二つの時間があり、それらと共に生きている。

「（ ）の時間」に目を向けることが、時間と付き合っていく上で重要。

②表を完成させましょう。

時間の定義	時間の特性
「時計の時間」 （ ）が表す時間。	・（ ）の動きをもとに定められた ・いつ、どこで、だれが計っても （ ）進む
「心の時間」 私たちが（ ）している時間	・いつでも、どこでも、だれにとっても （ ）いない ・様々なことがらのえいきょうを受けて （ ）が変わる ・人によって（ ）が変わる

○様々なことがらのえいきょうを受けて（ ）が変わる事例

③「その人がその時に行っていることをどう（ ）」

・楽しいことをしている時は、時間を気にする回数が（ 増える ・ 減る ）ので

時間が（ 長く ・ 短く ）感じる

・たいくつ時は、時間を気にする回数が（ 増える ・ 減る ）ので

時間が（ 長く ・ 短く ）感じる

・時間を気にことが、時間を（ 長く ・ 短く ）感じさせる効果がある。

④一日の（ ）

・朝・夜は体の動きが悪いので、時間は（ 長く ・ 短く ）感じる

・昼間は体の動きが良いので、時間は（ 長く ・ 短く ）感じる

⑤身の回りの（ ）

- ・身の回りからの刺激が多いと、 時間は（長く ・ 短く）感じる
- ・身の回りからの刺激が少ないと、 時間は（長く ・ 短く）感じる

○人によって（ ）が変わる事例

⑥

- ・ここちのよい（ ）は人によって異なる。
- ・さまざまな活動の（ ）とかわりがある。
- ・異なる（ ）で作業を行うと、（ ）を感じる。

◎みんなで同じことをしていても、それぞれにちがう（ ）で時間と向き合っている

⑦「時計の時間」と「心の時間」のまとめ

「心の時間」

- ・（ ）や（ ）の状態、身の回りの（ ）などで（ ）が変わる。
- ・それぞれにちがう「心の時間」の（ ）をもっている。

「時計の時間」

- ・「心の時間」のちがいをこえて、私たちが社会に関わることを可能にしている。
- ・（ ）を成り立たせている。

「時計の時間」と「心の時間」には必ず（ ）が生まれる。

⑧

私たちに必要なのは、

- 「（ ）の時間」を頭に入れて、
- 「（ ）に時間」を道具として使うという、
- 「時間」と付き合う（ ）なのです。

なぜかというと・・・

- ・さまざまな事がらのえいきょうで、「心の時間」の（ ）が変わるので、
- あらかじめ考えに入れて計画を立てておける。

- ・「心の時間」の（ ）がちがうのだから、他の人といっしょに作業する時に
- たがいを（ ）ながら進められる。

◎筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう視点の次のポイントをふまえて、「時計の時間と心の時間」を読んで考えたことをまとめよう。

①筆者の主張のどの部分に、共感、納得、疑問を感じたか。

②自分の経験をふまえて。

③自分の考え（共感・納得、疑問）、理由や具体例（知識や経験）、まとめ（時間との付き合い方）という順序でまとめよう。

※教科書54～55Pの例を参考にまとめましょう

名前

—